



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.945 2014 年 9 月 8 日

ARIBからのお知らせ

第 93 回規格会議開催のお知らせ

第 93 回規格会議の開催について下記のとおりお知らせいたします。
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成 26 年 10 月 2 日（木）午後 2 時から 3 時 30 分まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間（霞が関ビル 35 階）
東京都千代田区霞が関 3-2-5
- 3 議案
 - (1) 空港内デジタル移動通信システム TYPE2 標準規格の策定について
(ARIB STD-T114)
 - (2) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について (ARIB STD-T63 / TR-T12)
 - (3) IMT-2000 MC-CDMA System ARIB STANDARD / ARIB Technical Report の改定について (ARIB STD-T64 / TR-T13)
 - (4) 第二世代小電力データ通信システム／ワイヤレス LAN システム標準規格の改定について (ARIB STD-T66)
 - (5) LTE-Advanced System ARIB STANDARD の改定について (ARIB STD-T104)
 - (6) 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備（TV ホワイトスペース帯、特定ラジオマイク専用帯、1.2GHz 帯）標準規格の改定について (ARIB STD-T112)
 - (7) 1,500MHz 帯 MCA 陸上移動通信を行う無線局の無線設備標準規格の廃止について (RCR STD-25)
 - (8) 1,500MHz 帯 MCA 陸上移動通信を行う無線局の無線設備（PSTN 接続機能を含む。）標準規格の廃止について (RCR STD-26)
 - (9) 1.5GHz 帯デジタル方式 MCA システム標準規格の廃止について (RCR STD-32)
 - (10) VHF-High 帯に適用するセグメント連結伝送方式による地上マルチメディア放送運用規定技術資料の改定について (ARIB TR-B33)
 - (11) 第 32 作業班の名称の変更及び設置要綱の改正について
 - (12) その他

第 18 回規格評議会を開催**第 18 回規格評議会の様子と安田委員長**

9月4日（木）、当会の第2会議室において、第18回規格評議会を開催しました。安田靖彦委員長（東京大学名誉教授、早稲田大学名誉教授）の議事進行により、始めに当会の松井専務理事から、今年は7月の規格会議が月末の31日に開催されたため本規格評議会を例年より遅く開催することになったことの説明と、この1年間に標準規格に関する異議申立てがなかったため本規格評議会では標準規格等の策定状況等の報告を行うとの挨拶がありました。

その後議事に入り、当会の田中研究開発本部長補佐から、調査研究・研究開発及び標準化の体制の説明並びにこの1年間の標準規格等の策定及び改定の状況等の報告を行い、横尾理事から、平成25年度における標準規格等のWebサイトでの提供状況及びこの1年間のIPRデータベースのWebによる情報提供の報告を行いました。

安田委員長をはじめ各委員からは、標準規格・技術資料の内容やこれらの策定、改定に至る背景・経緯及び多様化するシステムに対する今後の課題等について、広範囲にわたるご意見やご質問をいただきました。

【注】

当会の定款では、標準規格に関して規格会議が行った手続きについて、規格会議の委員から異議申立てがあった場合において、会長が同異議申立てについての決定をするときは、規格評議会に諮問することとされています。

なお、前回規格評議会以降、委員からの異議申立てはなかったため、今回の規格評議会ではこの1年間の標準規格の策定・改定等の活動状況等の報告を行いました。

第 124 回電波利用懇話会を開催 「ウルグアイにおける地上デジタルテレビ放送の現状と展望について」

9月3日に、第124回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催しました。

今回は、独立行政法人国際協力機構(JICA)の地上デジタルテレビ放送導入支援アドバイザーとしてウルグアイにて、2年間勤務された日本放送協会の佐藤信之様をお迎えして、「ウルグアイにおける地上デジタルテレビ放送の現状と展望について」と題して、デジタル化法整備や国営放送デジタル化の技術支援等の技術協力の概要及び現地の放送事情等についてご講演を頂きました。

全体をとおり、数多くの会員の皆様に受講いただき、難視対策への取組みや日本製の設備導入へのアプローチの仕方などの多くの質疑応答が行われました。

なお、当会の会員 Web サイト (<http://www2.arib.or.jp/aribmem/seminar/index.html>) において、講演のプレゼンテーション資料を公開予定です。



第 124 回電波利用懇話会の様子と講師の佐藤様

ARIB / TTC 共催セミナーを開催 「M2M 標準化最新動向 - oneM2M 技術仕様（初版）の全貌 -」

9月1日に、M2M(Machine to Machine)に関わる標準化の最新動向を紹介する ARIB / TTC 共催セミナーを当会の会議室にて開催しました。

oneM2M の技術総会に、日本から継続的に出席されている 9 名の方を講師にお迎えして、「M2M 標準化最新動向 - oneM2M 技術仕様（初版）の全貌 -」と題して、oneM2M の意義

と技術仕様（初版）を公開した経緯、仕様書群の構成及び仕様書に規定された主要な技術について、幅広くかつ詳細に解説していただきました。

本セミナーには 140 名を超える ARIB 会員、TTC 会員及び一般の皆様にご参加いただき、oneM2M の特徴的な技術事項はもとより、oneM2M の今後の展望や期待についても、活発な質疑応答が行われました。

なお、当会の会員 Web サイト (<http://www2.arib.or.jp/aribmem/index.html>) に、セミナーで使用了プレゼンテーション資料を公開しています。



ARIB / TTC 共催セミナーの様子

ISDB-T インターナショナルフォーラム技術会合及び SET EXPO2014 について

8 月 24 日、地デジ方式として ISDB-T 方式を採用した国々が技術的な意見交換を行う ISDB-T インターナショナルフォーラム技術会合が、ブラジル・サンパウロで開催された SET EXPO2014 に併せて、日本（総務省、NHK、当会並びに中南米派遣の JICA 専門家）、ブラジル、ウルグアイ、チリ、エクアドルの 5 か国の参加により開催されました。

会合においては、当会の地上デジタル放送普及活動作業班（DiBEG）において検討してきた「ハードウェア」と「EWBS（緊急警報放送システム）」の調和文書の改正案について説明を行い、「ハードウェア」について文書構成の指摘があったものの、内容的にはいずれも賛同を得ました。今後、技術調和文書の制定・改正の承認を行う場である次回通常総会に向けて改めて両文書の改正について提案を行うこととなります。その他、「ミドルウェア」調和文書について議論を行うとともに、WG のコーディネータの交代に伴う新たな体制について検討が行われました。



ISDB-T インターナショナルフォーラム技術会合後の集合写真

ブラジルの SET（テレビ技術者協会）が毎年 8 月に開催している TV 放送技術に関する展示会とパネル形式の講演会による SET EXPO2014 が、8 月 24 日から 27 日までブラジル・サンパウロにて開催されました。

そのオープニングでは、ブラジル通信省シルヴァ大臣、電気通信庁レゼンデ長官等も参加し、今回の SET 展で 8 K スーパーハイビジョンの展示を行った NHK の浜田技師長が SET のフランコ会長より SET アワードを授与されました。展示では、NHK の他、日本企業数社が大規模なブース展示を行うとともに、総務省が日本ブースを設置し、当会並びに会員企業等が ISDB-T 関連の活動や製品紹介を行いました。講演会では我が国からも多くの講演が行われ、それぞれのセッションにおいてブラジルやその他の国のパネリストとともに活発な質疑応答が行われました。



オープニングに列席する左から通信省シルヴァ大臣、電気通信庁レゼンデ長官、NHK 浜田技師長



日本ブース

今週の ARIB 内会合（9 月 8 日～9 月 12 日）

- 9 月 9 日（火） デジタル放送システム開発部会 音声符号化方式作業班
9 月 9 日（火） デジタル放送システム開発部会 デジタル受信機 デジタルインタフェース TG
9 月 10 日（水） デジタル放送システム開発部会 映像符号化方式作業班
9 月 10 日（水） スタジオ設備開発部会 スタジオ音声作業班（音響システム検討作業班と合同）
9 月 10 日（水） 超高精細度 TV スタジオ設備開発部会 音響システム検討作業班（スタジオ音声作業班と合同）
9 月 10 日（水） 第 209 回業務委員会
9 月 11 日（木） 加入者系無線アクセスシステム作業班（第 3 回）会合

今週の国際会合（9 月 8 日～9 月 12 日）

- 9 月 10 日（水）～11 日（木） 地デジフォーラム in コスタリカ（総務省、コスタリカ科学技術通信省（MICITT）主催）

総務省からのお知らせ

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見募集 -FM 方式による AM ラジオ放送の補完中継局等に関する制度整備-

【[平成 26 年 8 月 29 日の総務省報道資料から](#)】

総務省は、「AM ラジオ放送を補完する FM 中継局に関する制度整備の基本的方針」（平成 26 年 1 月 31 日（金）公表）等を踏まえ、AM ラジオ放送の補完中継局等の円滑な導入を図るため、電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案を作成しました。

この訓令案について、平成 26 年 8 月 30 日（土）から同年 10 月 1 日（水）までの間、意見募集が行われています。

ISM 装置からの妨害波の許容値及び測定法に関する省令改正についての意見募集 -情報通信審議会からの一部答申を踏まえた省令案等の一部改正について-

【[平成 26 年 8 月 29 日の総務省報道資料から](#)】

総務省は、情報通信審議会からの一部答申を踏まえ、高周波利用設備のうち、工業、科学及び医療用装置からの妨害波の許容値及び測定法を見直すための電波法施行規則の一部を改正す

る省令案等を公表し、平成 26 年 8 月 30 日（土）から同年 10 月 1 日（水）までの間、意見募集を行っています。

**「基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件」の導入のための
電波法関係省令の改正等についての意見募集**

【平成 26 年 8 月 29 日の総務省報道資料から】

総務省は、移動通信システムに接続するエントランス回線や自営無線通信網など様々な用途で使用されている基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件を定める電波法関係省令等の改正案を作成しました。

同改正案について、平成 26 年 8 月 30 日（土）から同年 9 月 30 日（火）までの間、意見募集を行っています。

平成 27 年度総務省所管予算概算要求の概要

【平成 26 年 8 月 29 日の総務省報道資料から】

総務省ミッションとアプローチ 2015 -2015 年度総務省重点施策-

【平成 26 年 8 月 29 日の総務省報道資料から】

総務省は、今般、来年度予算概算要求の概要を公表するとともに、総務省が果たすべきミッション及びそのためのアプローチ（施策等）について、「総務省ミッションとアプローチ 2015」として取りまとめ公表しました。

○平成 27 年度総務省所管概算要求の概要

[公表資料はこちら](#) 

○総務省の課題とミッション(総務省ミッションとアプローチ 2015)

[公表資料はこちら](#) 

○総務省ミッションとアプローチ 2015 重点施策集

[公表資料はこちら](#) 



Association of Radio Industries and Businesses

**ARIB NEWS
発行所**

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp